

釧路南ロータリークラブ会報

第30回 例会報告 2021.3.19 通算1838回

・点 鐘 奈良会長

・ロータリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 澤山 理恵会員

・会長挨拶



みなさんこんにちは。始めに先々週の例会ですが所
要により欠席しました事お詫びいたします。
木内副会長お手数おかけしました。ありがとうございました。
本日のプログラムは「ロータリーを学ぼう」とさせて
いただきました。いつもは新入会員入会時にオリ
エンテーションを行っていましたが今回は改めて
会員皆でロータリーを学び直しましょうという趣旨
でプログラムを企画させていただいております。

担当であるロータリー情報委員会佐野委員長宜しく
お願い致します。本日の夜になりますが次年度の第
1 回会長幹事会が開催されます。私はガバナー補佐
幹事として参加させていただきます。残り約3ヶ月
になりましたが現在の会長職を全うし、長倉ガバナ
ー補佐をしっかりと支えながら各クラブ会長、幹事
の皆さんと協力し分区の運営が円滑に進むよう尽力
していきたいと考えております。次年度は周年もあ
りますし、IMも担当クラブとなります。また会員皆
さまの協力をお願いすることになると思いますが
宜しくお願い致します。以上会長挨拶とさせていた
だきます。

・幹事報告



- * 3月のロータリーレートは1ドル106円となっております。
- * ガバナー月信3月号が届いております。
- * 各ロータリークラブ様より3月のプログラムと会報が届いております。
- * 米山奨学会よりハイライトよねやま3月号が届いております。
- * サイドのお知らせになりますがロータリー手帳をお求めになりたい方がいらっしゃいましたら本
日中にお知らせください。
本日、理事会がありますので理事者の皆様宜しく
お願い致します。
各資料は回覧してますのでご一読ください。

・委員会報告

◆次年度幹事澤山会員より地区協議会のスケジュールの説明

2021-2022 年度 地区研修・協議会

(初 期 案)

2021年4月11日(日曜日) 9:30~11:30

ZOOM 開催

司会：ホストクラブ 釧路ベイ RC 千葉 潔



9:00	登録 (アクセス開始)		
9:30	本会議		
	開会宣言	地区研修・協議会行委員長	鈴木 敏夫
	点鐘	ガバナーエレクト	漆崎 隆
	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	漆崎 隆
	ガバナー挨拶	ガバナー	松田 英郎
	研修委員長挨拶	地区研修委員長	足立 功一
9:45	パストガバナー・ 次年度ガバナー補佐紹介 次年度地区委員長紹介	ガバナーエレクト	漆崎 隆
9:50	RI 会長テーマ・ 国際協議会報告、 地区ガバナー方針 次年度地区目標及び 地区活動方針	ガバナーエレクト	漆崎 隆
10:05	地区規則手続委員会の役割	地区規則手続委員長	小船井 修一
10:15	次年度地区活動予算案について	次年度地区財務委員長	渡辺 雅樹
10:25	次年度地区活動予定について	次年度地区幹事	成田 育夫
10:35	地区大会実行委員長挨拶	地区大会実行委員長	植原 元晴
10:40	基調講演 (テーマ) :ロータリー、直面する 課題とその将来像	地区研修委員長	足立 功一
11:15	RLI について	RLI 導入推進委員長	葭本 正美
11:25	諸事・分科会のご案内	IT 担当委員長	中村 昭彦
	閉会宣言	地区研修・協議会実行副委員長	伊藤 広樹
	点鐘	ガバナーエレクト	漆崎 隆

・本日のプログラム

「ロータリーを学ぼう」

担当 ロータリー情報委員会

◆佐野委員長



ポール・ハリス ロータリーの創設者

ロータリーは、一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。その人の名は、ポール・ハリス。シカゴで弁護士として働いていたハリスが、世界初のロータリークラブ（シカゴ・ロータリークラブ）を設立したのは、1905年2月23日。さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくるのが、ハリスの夢でした。

真に国際的な団体であるロータリーは、創設後わずか16年の間に6大陸へと広がりました。日本では1920年（大正9年）に初のロータリークラブ（東京ロータリークラブ）が設立されました。今やロータリーの会員は、世界が直面する諸問題を解決するために、地球の隅々で活動しています。

ロータリーは大きな夢を掲げ、常に高い目標を掲げています。1979年にはフィリピンで600万人の子どもにポリオの予防接種を行うプロジェクトを開始し、これが世界的なポリオ根絶活動のきっかけとなりました。野生型ポリオウイルスが常在する国は、1988年の125カ国から、現在はわずか3カ国に減っています。

設立以来、ロータリーは徐々に人道的奉仕にも活動を広げ、今では様々な職業や文化を持つロータリー会員がさまざまな課題を解決するために草の根の活動や国際的な取り組みを行っています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日の創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は、2,238、会員数86,451人（2020年9月末現在）となっています。

■ ロータリークラブについて ■

ロータリーとはどんなクラブ

一言でいえば奉仕クラブ組織で、自分の職業を通じて奉仕することに主眼がおかれています。ロータリーとは「人道的な奉仕を行いあらゆる職業において高度の道徳的水準を守る」という「ロータリーの綱領」を念頭に、世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した 実業人や専門職業人が世界的に結び合った団体」と定義され、またロータリークラブとは「奉仕の理想を各人の個人、職業、社会生活実践の基板とすることに同意した、実業人や専門職業人によって構成されたクラブ」と定義されています。何か難しそうですが実際は会員同士の親睦を深め自己啓発を進めながら自分の職業を生かして世界や地域に奉仕していくことを目指しています。

ロータリーではどのような活動しているのか。

4つの奉仕活動が中心です

・クラブ奉仕

会員相互の親睦を深め、和気あいあいとした協力体制を作ります。また、クラブ全体の運営・調和を図る役割もあります。

・職業奉仕

すべてのロータリアンが各自職場での代表でありロータリーの理想の模範を示し、その理想を分かち合うように勧めることを目的とします。これを端的に表したのが有名な四つのテストです。

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

・社会奉仕

地域社会の中でその社会が欲しているものを探しだし、そのニーズに対して適切な奉仕活動を行います。

・国際奉仕

ロータリーが世界平和と各国間の理解のために力となっている分野です。青少年留学生の派遣や受入、世界各地の災害援助など世界的な社会奉仕活動を行っており、世界中からポリオをなくすためのワクチンや医師の提供は、麴町RCが提唱し世界的に推進されているプログラムです。

例会と卓話

ロータリークラブは通常毎週1回例会を開催します。その例会では、クラブとしての活動報告や連絡事項の伝達などがありますが、その後半に「卓話」という会員や有識者による30分間の講演があります。この卓話はロータリークラブの最大の特徴で貴重な自己研鑽の材料です。この他にも親睦を深めるための家族会や同好会活動があります。

「ロータリーの目的」の旧訳

第4条 綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。

第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。

第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリーの理念

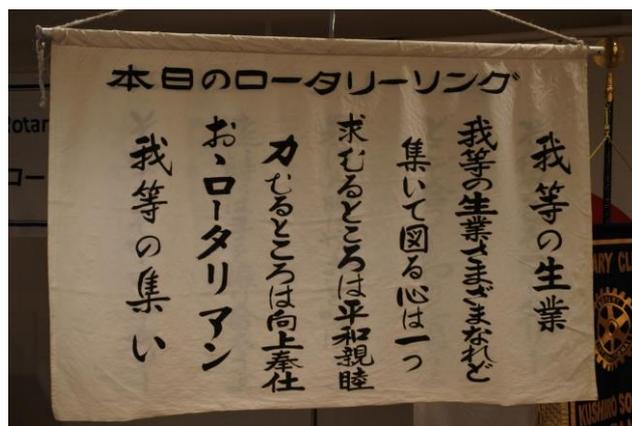
「奉仕の理念」（「奉仕の理想」）とは何か

「奉仕の理念」（「奉仕の理想」）は、“The Ideal of Service”の訳語です。“Ideal”を「理想」、「Service」を「奉仕」と直訳することで、原語のニュアンスが伝わらないと指摘する識者もいて、「サービス理念」とか「サービス哲学」という試訳もあります。従来“The Ideal of Service”の意味を解説した文献は、『公式名簿』巻末にチェスレー・ペレーが記した「ロータリー小史」の一説だけだとされていました。全世界のロータリークラブは一つの基本理念—「奉仕の理想」を持っている。それは**他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと**である。しかし、1931年にRIが発行した「目標設定計画」(*The Aims and Objects Plan*)というパンフレットの中では、“The Ideal of Service”の意味を以下の4つの言葉で示しています。一つ目は、ロータリーの第1モットーである「**超我の奉仕**」。二つ目は、同じく第2モットーである「**最も良く奉仕する者、最も多く報いられる**」。

三つ目は、「他社への思いやり」。これは上記のチェスター・ペレーの言葉と同じです。四つ目は、「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」という黄金律（マタイによる福音書 7-12）。当時のロータリアンが“The Ideal of Service”に託した意味は、以上 4 つの言葉が意味するものを包含していると考えられます。



例会風景



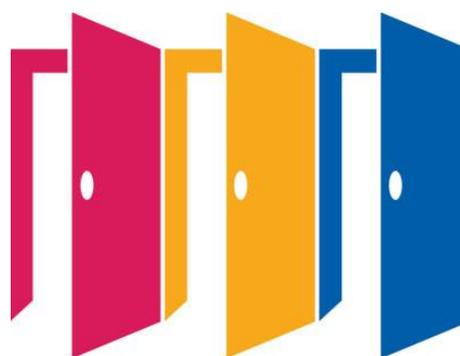
我等の生業



ロータリーの心と原点を読み聞かせる佐野委員長



ロータリーについて語る佐野情報委員長



ロータリーは機会の扉を開く



・次回のプログラム

3月26日（金）

「水と衛生月間に因んで」

会場 ANA クラウンプラザホテル釧路 12:30～

担当：環境青少年委員会

・点 鐘 奈良会長
今週の会報担当：木内治彦会員